

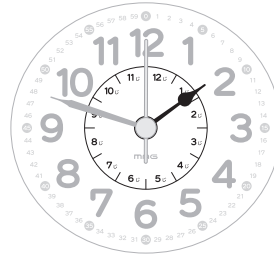
注意

電池の出し入れや、針を動かすことは、思わぬ事故を防ぐために、必ず大人の方がおこなって下さい。
お風呂場の中では電池の出し入れやリアケースを開ける事はしないで下さい。リアケースを開けたまま使用すると、生活防水機能は失われ、故障の原因になります。また、保証の対象外になります。

アナログ時計には短針と長針があり、短い針が「時」、長い針が「分」を表すという事を教えましょう。

Step1. まずは短針から教える

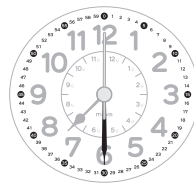
短針（紺色の針）が指している数字を読むと「時」が読めるようになります。「分」の概念は後回しにして、まずは「時」を読めるようになりましょう。右図の中心の円に注目して、短い針がどの数字を指しているかを読んでみましょう。「時計の短い針が1のところに行ったら1時だよ」と12時まででそれぞれ教えてみましょう。1時から12時までを読めるようになったら次のステップです。



声かけのポイント
「3時だからおやつにしよう!」「6時からテレビが始まるよ!」など、生活の中でお子様の好きな出来事から時計を見る習慣をつけてみましょう。

Step2. つぎは長針を教える

長針（赤色の針）が指している数字を読むと「分」が読めるようになります。外側にある小さい数字に注目して、長い針がどの数字を指しているかを読んでみましょう。最初は赤の数字の0と30を指す位置で「0時ちょうど」と「0時30分」を教えましょう。次に5、10、15…と5分きざみに赤の数字を読めるようにします。慣れてくると1から12の大きな数字に惑わされることなく、目盛りを数えて「分」を読むことが分かるようになります。



いまは何分かな?
6ぶん!
長い針は周りの小さい数字を読むんだよ。
あっ!そっか!
いち、に、…30ぶんだ!

声かけのポイント
「10時半になったらおでかけよ!」「7時30分になったからお風呂にはいるよ!」など、最初は「0時30分」のときに声をかけて時計を見せてあげてください。このとき「0時半」という言い方も同時に教えてしまいましょう。どちらも同じ意味だと知る事で、30は半分であるという意識が付き、60進法の理解への手助けになります。短針が数字と数字の間にある事も気づかせてあげましょう。
お子様と一緒にひとつずつ丁寧に目盛りを数えてあげましょう。

Step3. 短針・長針の順番で読む

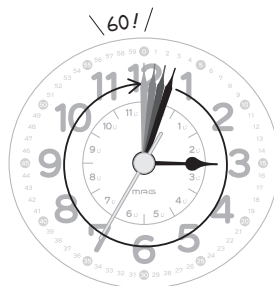
①短針②長針の順に読むという事を教えてみましょう。短針 = 「時」長針 = 「分」という事を徹底して覚えてしましましょう。「何時何分?」と問いかけて「0時0分」と繰り返し答えるうちに慣れて読めるようになります。

いまは何時何分?
7じ30ぶん!
こんどはちょっと難しいよ
いまは何時何分?
7じ32ぶん!
すごいよ!よくわかったね。

声かけのポイント
ふとしたときに何時何分が質問してみましょう。今の時刻を答えられるようになったら「じゃあ、おやつまで後何分?」などの質問もしてみましょう。はじめは目盛りをひとつずつ数えて答えられるだけでじゅうぶんです。この感覚を身につけておくと「時間の計算」の学習への理解も早くなります。

とけいが読めるようになったら…

秒針が1周したら1分で、長針が1つ進みます。長針が1周したら1時間で、短針が1つ進みます。3つの針の関係を丁寧に教えてあげましょう。60秒が1分、60分が1時間、という部分は難しいですが、3本の針の動きを見ているうちに段々と理解できるようになります。

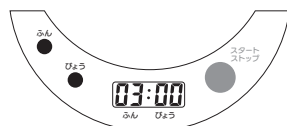


0から順番に60まで数えてみよう!
長い針が1周すると4時になるよ!

声かけのポイント
お子様は3つの針の回る速度が違う事に混乱しやすいです。「秒針が1周したら長い針はひとつ進むよ、一緒に60数えてみようね。」と0の位置に秒針がきたときに数えてみましょう。次に長針についても60進んだら短針がひとつ進むことを教えてあげましょう。

タイマーの活用

「ぶん」「びょう」をセットすると、タイマーを使用できます。湯舟から出る時間や、お風呂から出る時間を決めて、少しずつ時間管理を意識できるようになると、けじめのある生活習慣を身に着けることに役立ちます。



タイマーが鳴ったら、お風呂から出ようね!

タイマー使用のポイント
お子様はボタンやスイッチが大好きです。まずは大人が時間を決めて、お子様に時間をセットしてもらいましょう。時間を守れたらほめてあげてください。最後の10秒を、お子様と一緒にカウントダウンしたり、競争して遊ぶのもよいです。お子様に合う楽しみ方を見つけて、自由に活用して下さい。

大切なこと

お子様が間違えてしまっても叱ったりせず、ポジティブな言い方でやさしく教えましょう。読めたときにはたくさんほめて、お子様と楽しみながらすすめて下さい。「時計が読める」とお子様が感じられることが一番です。ぜひ時計を身近なものにしてあげて下さい。
生活防水知育時計 おふるdeよ〜めると一緒に楽しく学習しましょう!

T-745 取扱説明書

T745-z-2105

ご購入ありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

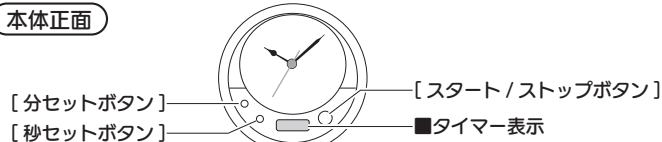
- 印刷による制限のため本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じたいかなる支出・増益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります)

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25°C で使用した場合)
- 使用温度範囲: 0 ~ +40°C ※結露なきこと (外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用推奨電池: 時計用: 単3形マンガン乾電池 (R6 1.5V) 1個
タイマー用: 単3形マンガン乾電池 (R6 1.5V) 2個
- 電池寿命: 時計用: 約 12 ヶ月 (単3形マンガン乾電池 1個使用の場合)
タイマー用: 約 12 ヶ月 (単3形マンガン乾電池 2個を使用しタイマーを 1日に1回使用の場合)
※本製品は、マンガン乾電池の特性に合わせて設計されています。アルカリ乾電池は使用できますが、電池寿命が延びてしまい、そのまま使用を続けると、液漏れの原因となる場合があります。マンガン乾電池と同様に、製品仕様欄に記載の電池寿命を目安に、電池を交換して下さい。
- 保護等級: JIS IPX2 相当 (生活防水)
- タイマーアラーム: 電子音 (約 60 秒オートストップ)
- 音量: 70dB 以上
- カウントダウン機能: 最大 99 分 59 秒
- リピート機能 ■一時停止機能 ■リセット機能

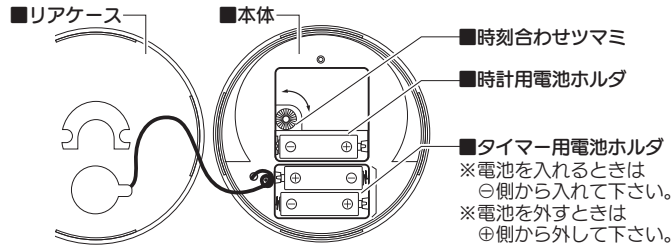
各部の名称

本体正面



本体展開図

注意 本製品のリアケースと本体はコードでつながっています。開きすぎに、ご注意ください。



注意 種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や時計の故障の原因になります。

ご使用方法

- ①保護ラベル (透明) を剥がす。
- ②本体とリアケースをガイドに合わせて回して開ける。
注意 本製品のリアケースと本体はコードでつながっています。開きすぎに、ご注意ください。リアケースを開閉するときは、乾いた布などで水滴や汚れを十分にふき取り、ケース内に水や湿気が入り込まないように、ご注意ください。
- ③単3形乾電池 1個を、時計用電池ホルダの ⊕ ⊖ の表示に合わせて入れる。
時計が動き出します。
- ④単3形乾電池 2個を、タイマー用電池ホルダの ⊕ ⊖ の表示に合わせて入れる。
画面に「00:00」が表示されます。
※電池を入れる際は、必ず電池ホルダに表示されている ⊕ ⊖ の向きをご確認下さい。
- ⑤時刻合わせツマミを回して現在時刻に合わせる。
- ⑥本体とリアケースをガイドに合わせて回して閉める。

カウントダウンタイマーの使い方

- ①分セットボタン / 秒セットボタンを押して、時間を設定する。
※分セットボタン / 秒セットボタンは長押しすると早送りします。
※最大 99 分 59 秒まで設定する事ができます。
- ②画面に表示された設定時間を確認し、スタート / ストップボタンを押す。
→ 1 秒単位でカウントダウンが始まります。
- ③設定時間になるとアラームが鳴ります。
※アラーム音は約 60 秒後に自動停止します。
- ④アラームを止めるときは、いずれかのボタンを押す。

リピート機能について

アラームを止めるときにスタート / ストップボタンを押す。
→ 前回設定した時間が表示されます。その状態でスタート / ストップボタンを押すと、同じ設定時間を繰り返し使用することができます。
※アラームを止めるときに分セットボタン、または秒セットボタンを押すと設定時間がリセットされて、リピート機能が解除されます。

一時停止機能について

カウントダウンの作動中にスタート / ストップボタンを 1 回押す。
→ カウントが一時的に止まります。続けてカウントをする場合は、もう 1 度スタート / ストップボタンを押します。

リセット操作について

分セットボタンと秒セットボタンを同時に押す。
→ 設定時間がリセットされ、「00:00」が表示されます。

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 0 ~ +40°C の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示板は 5 年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。

電池の交換について

- 時計用電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。このような場合は、速やかに新しい電池に交換して下さい。
- タイマー用電池容量が少なくなると、液晶表示が薄くなったり、歪んだり、アラーム音が小さくなったりします。このような場合は速やかに同じ種類の新しい電池に 2 個同時に交換して下さい。
※電池交換のためにリアケースを開閉するときは、乾いた布などで水滴や汚れを十分にふき取り、ケース内に水や湿気が入り込まないようにご注意ください。
※買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により電池寿命が短くなる場合があります。

設置について (吸盤 / スタンド)

注意 設置が不適切な場合、落下する危険があります。

- 木壁、しっくい、モルタル、すりガラスなど設置面と吸盤の間に空気が入り吸着力が保てない所や、火の近く、高温になる所には設置しないで下さい。
- 吸盤が変形したり、取り付けにくくなった場合は、約 60°C のお湯に 10 分程つけた後、乾かしてからご使用下さい。
- 冷蔵庫などに取り付けたい場合は、ドアの開閉時の衝撃で落下する事がありますのでご注意ください。
- 設置可能な場所でも、取り付け方により吸着が不十分な場合があります。落下を防ぐために、設置後に再度取り付け状態をご確認下さい。
- スタンドを付けた状態で時計を移動する際は、時計本体とスタンドを一緒にお持ち下さい。時計本体だけを持ち上げると、スタンドが本体から外れ、落下する恐れがあります。
- スタンドの先端に触れてケガをしないようにご注意ください。
- 設置面との吸着力が不十分な場合は、市販の吸盤用補助板などをご利用下さい。

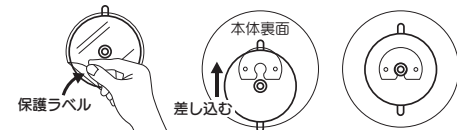
【スタンドのご使用方法】

吸盤を外し、スタンドホールにスタンドをしっかりと差し込む。



【吸盤のご使用方法】

保護ラベル (透明) を剥がし、本体表面に取り付ける。



生活防水機能について

- 濡れた手で操作や水しぶきなどに耐える設計になっていますが、水をかけたり、水につけたりすることは故障や事故の原因になりますので絶対にしないで下さい。
- 時計の内部にも多少の湿気 (水分) がありますので、外気が時計内部の温度より低い場合は、ガラス面の内側がくもること (結露) がありますが、くもりが一時的であれば時計機械部分に支障はありません。このような場合は、リアケースを開けた状態で乾燥した風通しの良い場所で陰干しをして下さい。
- 生活防水効果を長く保つため、急激な温度変化のある場所 (屋外など) でのご使用は避けて下さい。
- 本体や文字板の劣化を早めますので、直射日光の当たる場所でのご使用は避けて下さい。
- 電池交換などのためにリアケースを開閉するときは、乾いた布などで水滴や汚れを十分にふき取り、ケース内に水や湿気が入り込まないようにご注意ください。

故障かな?と思ったら…

※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考に確かめ下さい。

症状	考えられる原因	処置
時計が動かない	電池容量が無い 電池が入っていない 電池が正しい向きで入っていない	時計用電池ホルダの ⊕ ⊖ の向きを確かめて、新しい電池を入れて下さい。
時計が遅れるまたは止まる	電池端子の接触不良 電池容量が少ない 電池容量が無い	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。 時計用電池ホルダの電池を新しい電池に交換して下さい。
タイマーが動かない	電池容量が無い 電池が入っていない 電池が正しい向きで入っていない	タイマー用電池ホルダの電池を同じ種類の新しい電池に 2 個同時に交換して下さい。
タイマーが遅れる / 液晶表示が薄くなるまたは消えてしまったり / アラームが小さいまたは鳴らない	電池端子の接触不良 電池容量が少ない 電池容量が無い	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。 タイマー用電池ホルダの電池を同じ種類の新しい電池に 2 個同時に交換して下さい。